

# 歴史的分野との関連展示

## 【地球館2階】科学と技術の歩み

### 内容 B (3) 近世の日本 (ウ) 産業の発達と町人文化

産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解すること。(学習指導要領p.51)



④大日本沿海  
與地全図



④伊能忠敬使用の  
中型象限儀 (レプリカ)



④製図道具一式

▶伊能忠敬の全国測量は緯度一度の距離測定が目的で、そのためには日本各地での正確な天体観測が必要であった。象限儀はそのための観測器具の一つで、師である間重富が「霊台儀象志」などを参考に工夫して作らせた天体の角度測定器である。

### 2. 江戸時代の科学技術



⑦エレキテル  
平賀源内製の摩擦起電機 (レプリカ)

▶1776(安永5)年頃、平賀源内製の摩擦起電機。日本で初めて製作された電気の機械。ガラスの円筒と金箔を貼った枕が擦れることによって静電気を発生させる。



⑥解体新書

▶腑分けに立ちあった杉田玄白、前野良沢らが、解剖した臓器と蘭書中の図を比べ、その正確さに驚き翻訳を決意し、1774(安永3)年に出版した西洋解剖書の翻訳書。我が国最初の本格的な蘭書翻訳書であり、この出版を契機に蘭学が興るなど、医学だけでなく日本の近代文明の西洋化に多大な影響を与えた本である。

### 内容 C (1) 近現代の日本と世界 (イ) 明治維新と近代国家の形成 (エ) 近代産業の発展と近代文化の形成

開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解すること。(学習指導要領p.51)

我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解すること。(学習指導要領p.52)



⑧明治6年新暦

▶1872(明治5)年11月の太政官の布達で、明治政府は突然、旧暦1872年12月3日を新暦1873年1月1日に改めるとした。



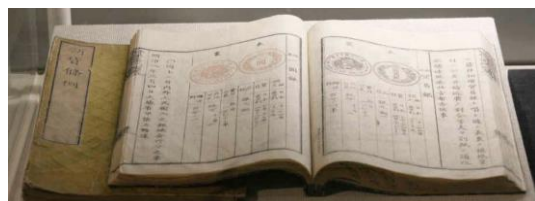
⑧改暦弁

▶福沢諭吉は改暦の布達が出た1872年(明治5)年11月官許を得て、1873年1月1日付けで慶應義塾から『改暦弁』を発行した。幕末、海外に渡り、その実態を見てきた福沢諭吉にとって、暦などの社会体制の近代化は、早急に行うべきことであった。



⑧明治の新貨

▶明治政府は、1869(明治2)年末に各国に1円銀貨を本位とし、欧米と同じような貨幣体系を行うことを伝え、1871年に新貨条例を公布し、正式に貨幣体系を定めた。



⑧新貨条例

### 3. 近代化の始まり



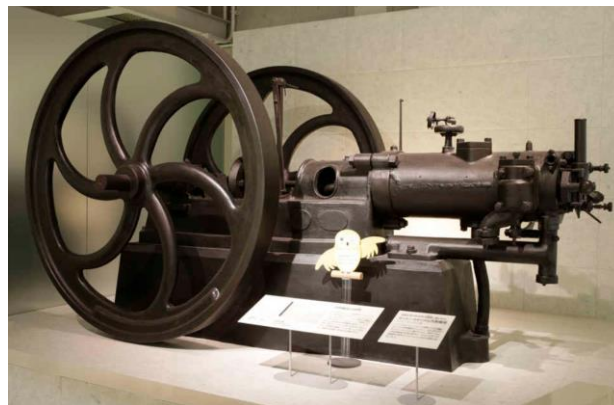
⑨涅氏冶金学(上冊、附図)復刻版

▶お雇い外国人教師クルト・ネッターが東京大学理学部採鉱冶金学科でおこなった講義を学生であった渡辺・野呂らが筆記し、翻訳したものである。野呂らはドイツの技術導入で行われた明治34年の八幡製鉄所操業に際しても、実際上の指揮をとり成功に導いている。



⑩縦削盤

▶1863(文久3)年、幕府の注文によりオランダで製作され、長崎製鉄所に納められた。



⑨オットー4サイクル内燃機関

▶ドイツ人オットーによって考案された初期の4サイクル内燃機関(エンジン)。1887(明治20)年ごろイギリスより購入された。欧米でも蒸気機関が主流の時代に、すでに日本で内燃機関が研究されていたことを示す貴重な資料である。

## 【日本館2階北翼】

内容 B (1) 古代までの日本

### (1) 日本列島における国家形成

日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）における統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解すること。（学習指導要領p.49）



①縄文人 縄文犬



①弥生人 弥生犬



⑮縄文の米づくり

▶近年になって縄文後期の土器片からプラント・オパールが発見されたことにより、少なくともこの時代から稲作が行われていた可能性が指摘されている。



⑮弥生の米づくり

▶弥生人の生業で最も大切だったのは、水田耕作であった。弥生時代の水田には平坦な土地に作られた広い区画の水田と、傾斜地の小さな水田が見られる。



⑤銅鏡（三角縁神獣鏡）



⑤弥生の銅鐸

▶弥生時代に渡来した人々は、日本に水田稲作だけでなく金属器をもたらした。青銅器は弥生前期に、鉄器は中期以降に朝鮮半島より北部九州地方にもたらされ、鉄器は主に実用品として、青銅器は主に祭祀の道具として使用された。



⑤甕棺

▶死者を埋葬するための巨大な甕棺なども土器で作られた。

## 地理的分野との関連展示

内容 C (2) 日本の地域的特色と地域区分

(ア) 日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土的特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解すること（学習指導要領p.44）

### 3. 変動する日本列島



⑫岩石で作った日本の地質図



⑬日本で起きる地震



⑬火山と温泉の分布

## 【日本館3階南翼】

### 1. 南北に長い日本列島の自然



③暖温帯

### ②亜熱帯



②典型風化変質赤黄色土  
(土壌モノリス標本)



### 2. 日本列島を囲む豊かな海

▶日本列島は、地質年代的な長い目で見ると地殻運動によってめまぐるしく変化し、複雑な地質と山岳に富む地形が造られた。また、四季の変化が明瞭で、季節風と海流の影響を強く受けています。地形的にも気候的にも複雑な自然環境は、多様な生き物たちを育んできた。